



2020年3月12日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 エ デ ィ ア
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 賀 島 義 成
(コード番号：3935 東証マザーズ)
問 合 せ 先 管 理 部 門 執 行 役 員 米 山 伸 明
(TEL. 03-5210-5801)

特別損失の計上並びに2020年2月期通期業績予想に関するお知らせ

当社は、2020年2月期第4四半期連結会計期間において下記の特別損失を計上しましたのでお知らせするとともに、2019年4月12日付の2019年2月期決算短信において未公表としておりました、2020年2月期通期の業績予想につきまして、下記のとおり公表いたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社ゲームサービス事業において、売上寄与を見込んでいたタイトルが、想定していた売上高に届かずに推移し、当初計画していた売上が未達となる見込みとなりました。そのような状況下、当該ゲームタイトルに係るソフトウェアの収益性が低下したことから、9百万円の減損損失を計上いたしました。

2. 通期業績予想について

(1) 2020年2月期連結業績予想数値(2019年3月1日～2020年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年4月12日付)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	2,400	△180	△200	△210	△33.01
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年2月期)	2,005	△516	△542	△1,117	△243.50

(2) 業績予想の概況

スマートフォンゲーム業界を取り巻く環境の変化が激しく、当社グループのゲームタイトルの売上見込について、信頼性の高い業績予想の算定が難しいことから、業績予想を非開示とさせていただいておりますが、期間の経過等により、合理的な業績予想の算定が可能となりましたので開示いたします。

ゲームサービスにおきまして、収益性の低いゲームタイトルのサービスを終了したことにより、ゲームサービスの売上高は減少するものの、利益は改善傾向にあり、『アイドルうおーず～100人のディーバと夢見がちな僕～』を始めとする運営移管を受けたタイトルにより売上、利益は堅調に推移しております。また、収益性の低い不採算のゲームタイトルを終了し、伸び率の高いコミック・電子書籍にリソースを集中することで事業構造改革を図っており、前期から取り組んでいるコスト削減と併せて、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、前期実績（2019年2月期）と比較して改善する見込みであります。

(注) 本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上